



学校運営協議会だより

令和8年9月吉日

ようがの学び舎
世田谷区立用賀中学校
学校運営協議会

ひぐらしの声から鈴虫の音へと変わり、秋の訪れを感じております。
保護者の皆さまにおかれましては、ご健勝のことと存じます。
令和8年9月に開催された学校運営協議会の概要についてご報告いたします。

【1】学校運営協議会 酒井委員長より挨拶

これまで2学期のスタートについて、学校側、また生徒側それぞれに難しい部分もあると伺っておりましたが、校長先生から、無事に順調なスタートを切ることができたとお聞きし、安心しております。

また、9月は「ゴールド・セプテンバー」と呼ばれる小児がん啓発月間です。私事ですが、子どもを守る活動を行う公益社団法人の理事を務めており、来週、小児がんの国際的な啓発活動に参加する予定です。

小児がんについて知っていただくきっかけになればと思い、普段からゴールドリボンを身に付けています。小児がんに関しては、学校と医療機関との連携や、ご家族への社会的な支援が必要となる場合があります。

必要に応じてソーシャルワーカー等につなぐこともできますので、子どもたちやご家族が困った際に、必要な支援につながる一助となればと思っています。



【2】毛利校長より挨拶

無事に2学期を迎えることができました。始業式では、生徒たちが元気に登校する姿を見ることができ、安心するとともに嬉しく思っています。9月は生徒が不安を抱えやすい時期でもあるため、悩みや困ったことがあれば周囲の大人に相談するよう伝えていきます。夏休み中も校長室だよりを発行し、生徒とのつながりを大切にしてきました。来年度からは特別支援学級を開設する予定です。現在、教員研修や教室の整備など準備を進めています。一人ひとりのニーズに応じた支援を行うとともに、通常学級との交流も大切にし、学校全体で支える体制をつくっていきたく考えています。

また、夏休み中には体育館のLED化、門の改修、エレベーターの設置、技術室・家庭科室・会議室・理科室等の廊下側の壁の施設整備も行われました。2学期は多くの行事が予定されているため、生徒が主体的に活動し、学校内外で活躍できる機会を大切にしていきたいと思います。新学期には授業時間を一部短縮し、生徒と話す時間も設けました。今後も、生徒一人ひとりの様子を丁寧に見取り、安心して学校生活を送れる環境づくりを進めていきます。2学期も皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

来年度の特別支援学級開設に向けて

- ・来年度から特別支援学級を開設する予定。
- ・夏休み中に教員が研修に参加し、開設に向けた準備を進めている。
- ・教室は現在のパソコン室を活用し、通常学級との交流を大切にした運営を目指す。
- ・特別支援学級では、生徒一人一人のニーズに応じた教育や支援を行う。
- ・開設当初の人数は現時点では未確定。学級規模に応じて教員配置等も決まる予定。
- ・世田谷区では特別支援学級の整備を進めており、今後も設置校を増やしていく方針。

【3】協議事項

(1) 地域イベントへの生徒参加・ボランティア YCC フェスティバルへの参加

- ・生徒会とYCC関係者で複数回話し合い、生徒の参加方法を検討している。
- ・これまでの「缶倒し」「棒倒し」「輪投げ」等とは異なる形での参加を検討。
- ・生徒会が、イベントに参加する中学生ボランティアをまとめる「ボランティアを支えるボランティア」として活動する方向。
- ・各ブースへのボランティア配置や、ポッチャ等の運営補助も想定している。
- ・夏休み中にも地域のお祭り等へ多くの生徒が参加し、地域から好意的な評価を得ている。
- ・今後も地域活動への生徒参加を増やしていきたい。

ボランティア活動に関する意見

- ・学年を問わず参加できる活動として検討。
- ・3年生にとっては、部活動引退後の活動機会や学校生活の思い出にもなる。
- ・ボランティア保険についても確認・活用する。
- ・中学生であることが分かるビブス等の着用を検討。

（２）学校評価アンケートについて

- ・今年度の学校評価アンケートについて内容を見直している。
- ・生徒・保護者・地域を対象に実施する。
- ・アンケートの数が多く、生徒の負担になっているという課題があったため、質問項目を精査し簡潔にする。
- ・回答結果を実際の学校改善に活用できる内容にする。
- ・学校教育目標・重点目標に設定した「数値目標」をアンケート項目に反映させる。
- ・生徒の主体性、自己解決力、思いやりなど、数値化しにくい力についても把握できるようにする。
- ・生徒用・保護者用アンケートについて、それぞれ質問項目と質問の意図を整理する。
- ・独自項目や自由記述については、今年度は原則として設けない方向。
- ・アンケートは業者によるフォーム・集計を利用する予定。
- ・回答率については、一定の客観性を確保するため、75～80%程度を目標とする。

【４】情報交換

（１）副校長より

バスの中で、聴覚障害のある女性に中学生が席を譲ったことについて、ご本人から学校へ感謝の電話がありました。生徒の思いやりある行動が地域の方に大きな感動を与えたことは用賀中の教職員一同誇りに思っています。

また、用賀中の生徒像である「人の心の痛みがわかる生徒」に育っていることがとても嬉しく感じます。

校長からも始業式でこの出来事について生徒に紹介し、他者への気づきや優しさを広げる機会としました。

3年生についても、授業に集中して落ち着いて取り組んでいるという教職員からの評価もありました。

今後も生徒の良い行動や成果を積極的に認め、励ましていきたいと思います。

（２）生徒の活動・表彰等

- ・広島平和学習プログラムに参加した生徒が、その活動について新聞に掲載された。
- ・始業式では、スポーツ等で活躍した多くの生徒が表彰された。
- ・サッカー部は大会で優勝し、連覇を達成。
- ・美術部など、文化部でも合唱コンクール等に向けた活動が進んでいる。
- ・生徒が様々な場面で活躍する機会を増やし、学校として積極的に発信していく。

（３）今後の学校行事

9月：石川・福井方面への修学旅行（3年生）

10月：河口湖移動教室（1年生） ・職場体験（2年生） ・合唱コンクール

（４）生徒の心身の安全・相談体制

- ・9月は、学校生活への不安や精神的な悩みが表面化しやすい時期であるため、生徒の変化を注意深く見守る必要があるとの意見が出された。
- ・生徒が悩みを抱え込まず、教員等に相談できる環境づくりが重要。
- ・学校では新学期当初に時間を確保し、生徒と話す機会を増やしている。

（５）災害・豪雨時の登校対応

- ・近年の豪雨災害を踏まえ、暴風警報だけでなく、大雨・豪雨時の登校判断についても見直しが進められている。
- ・世田谷区でも、より早い段階で休校等を判断できる仕組みへの変更が検討されている。先日、9/7（月）の警報級の大雨予報の日は臨時休業に決定。
- ・学校としても、大雨等で安全な登校が難しい場合には、無理に登校しないよう保護者へ周知する方向。
- ・今後、区の基準が変更された場合は学校から改めて周知する。

（６）熊などへの安全対策

- ・夏休み前に、生徒向けの安全指導の時間に動画を活用した指導を行った。
- ・動画やポスター等を活用し、旅行先等で万一熊に遭遇した場合の基本的な対応を学んだ。
- ・学校ホームページにも関連情報を掲載している。

（７）その他

- ・学校要覧をリニューアルし、新入生や来校者等に学校の様子を伝えられるようにした。
- ・今後も生徒の活動や地域とのつながりを積極的に発信していく。
- ・次回は11月7日に開催し、合唱コンクールの振り返りや、来年度の学校運営についても検討する。

学校運営協議会は「地域のコミュニティづくりに貢献できる学校」を目指すため
保護者や地域住民が集い関わり合います。
形骸化した内容ではなく協議会メンバーで熟議を行っていきます。